

HTML TIPS & TRICKS

第 14 回

誰よりも早く 最新のHTMLを使ってみよう

藤井幸孝 白畑 真

最近のこの連載ではIE 4.0 で利用できる高度なTIPSが続いていた。今回もActiveXを使ったレベルの高いTIPSも紹介するが、おさらいを兼ねた誰でも簡単にできるようなものも紹介していく。ネットスケープナビゲーターが無料で配布されてWWWブラウザのシェアも先が読めなくなった今、ウェブページ制作者がどんな技術にも対応できるように、今月も幅広いTIPSとTRICKSをお届けする。

このコーナーを楽しむために

最新のHTMLを使う際に、どうしても避けて通れないのがWWWブラウザの互換性の問題だ。そこでこのコーナーでは、TIPSごとにブラウザの対応状況をアイコンで表している(2月10日現在)。これを参考に使用するWWWブラウザを選んでほしい。



インターネットエクスプローラ3.0以上



インターネットエクスプローラ4.0以上



ネットスケープナビゲーター3.0以上



ネットスケープナビゲーター4.0以上



2月号「HTMLパズルに挑戦しよう」の解答

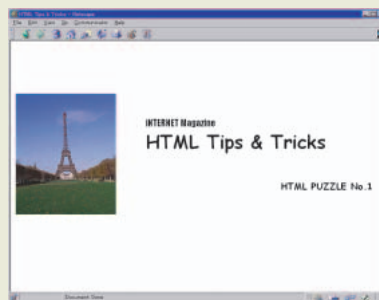
問題が簡単だったのか、それともプレゼントが変わったのが原因なのかわからないが、今回は解答者の数がいっぴくに非常之多かった。ウェブページを作るうえでイメージは非常に重要な要素を占めている。わからなかった人もこの解答を読んで試してみよう。



ANSWER ① イメージを代替表示させる!

1問目の解答は簡単だったのではないだろうか。解答のポイントはイメージのファイル名を指定する「SRC」に加えて「LOWSRC」を追加してやることだ。この「LOWSRC」を指定さえすれば、表示されるイメージが読み込まれている間に別のイメージを表示させることができる。

```
<IMG SRC="photo1.jpg" WIDTH=218 HEIGHT=262 BORDER=0  
LOWSRC="photo0.jpg" ALT="some images">
```



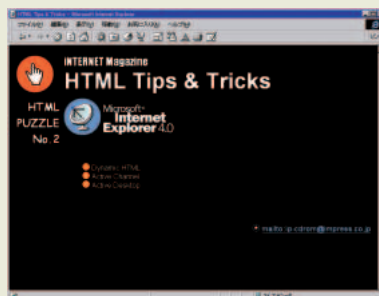
正解者の方々：金子智範さん、土屋陽介さん、藤川晃さん、ほか多数



ANSWER ② IE 4.0 の内部画像を表示させる!

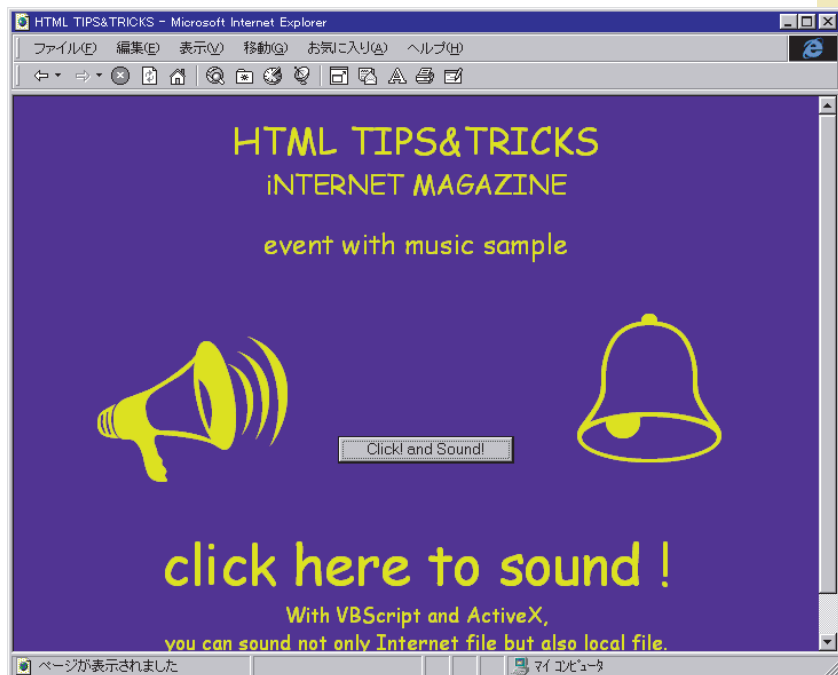
IE 4.0 が持っている内部画像を呼び出すには、IE 4.0 をインストールして始めに起動するウィンドウを参考にすればいい。

```
<IMG SRC="res://ie4tour.dll/w-chan.bmp" BORDER=0 ALT="アンテナ">  
<IMG SRC="res://ie4tour.dll/w-begin.bmp" BORDER=0 ALT="手">  
<IMG SRC="res://ie4tour.dll/w-tour.bmp" BORDER=0 ALT="虫眼鏡">  
<IMG SRC="res://ie4tour.dll/w-reg.bmp" BORDER=0 ALT="紙と鉛筆">  
<IMG SRC="res://ie4tour.dll/w-blue.bmp" BORDER=0 ALT="青い丸">  
<IMG SRC="res://ie4tour.dll/w-orange.bmp" BORDER=0 ALT="赤い丸">  
<IMG SRC="res://ie4tour.dll/t-one.bmp" BORDER=0 ALT="数字1">  
<IMG SRC="res://ie4tour.dll/t-two.bmp" BORDER=0 ALT="数字2">  
<IMG SRC="res://ie4tour.dll/t-three.bmp" BORDER=0 ALT="数字3">
```



正解者の方々：川田哲さん

ActiveXコントロールを使って音楽を流す



WWWでオーディオファイルを扱えるようになったのはもうずいぶん前のことになる。<EMBED>タグや「BGSOUND」といったオプションを使ってウェブページにBGMを加えた読者も多いのではないだろうか。さて、IE4.0ではさらに一歩進んで、ボタンや文字などをクリックしたときに効果音を鳴らしたり音楽を流したりすることができるようになっている。しかも外部のアプリケーションが立ち上がることなく、WWWブラウザ内だけでこれを実現できるのだ。ゲームのページやフォームの強化に役立つこのTIPS、WaveファイルかMIDIファイルを用意して、さっそく試してみよう。



```
<SCRIPT language="VBScript">
  Sub Sound_onclick
    Snd.run
  End Sub
</SCRIPT>

<INPUT NAME=Sound TYPE=BUTTON VALUE="Click! and Sound!">

<OBJECT ID="Snd" WIDTH=0 HEIGHT=0
  STYLE = "visibility:hidden"
  CLASSID="CLSID:05589FA1-C356-11CE-BF01-00AA0055595A">
  <PARAM NAME="showcontrols" VALUE="0">
  <PARAM NAME="showdisplay" VALUE="0">
  <PARAM NAME="AutoStart" VALUE="0">
  <PARAM NAME="AutoRewind" VALUE="0">
  <PARAM NAME="PlayCount" VALUE="1">
  <PARAM NAME="FileName" VALUE="file:///C:/WINDOWS/MEDIA/The Microsoft Sound.wav">
</OBJECT>
```

Point

このTIPSではIEのみの機能であるVBスクリプトとActiveXを使っている。普通ActiveXを利用するには、ActiveXコントロールパッドなどの専用ツールを使ってコンポーネントを作成するのだが、今回はウィンドウズ標準のサウンドファイルを再生するためのActiveXコントロールを使うので、ツールを使ってActiveXコントロールを作成する必要はない。

まず初めに<SCRIPT>タグを使って、サウンドファイル再生命令のVBスクリプト文を書いておこう。頻繁に紹介しているJavaスクリプトと違って「LANGUAGE="VBScript"」とするのを忘れないように注意してほしい。

```
Sub Sound_onclick
  Snd.run
End Sub
```

このスクリプトは「Sound」という名前のオブジェクトをクリックしたら、「Snd」というコンポーネントを実行しろという意味だ。「Sound」と「Snd」については以下で説明する。

このTIPSではボタンを押したら音が鳴るようにしたいので、<INPUT>ボタンを作り、名前を「Sound」としておく。続いて最も重要なActiveXコントロールの指定だ。IDを「Snd」とした<OBJECT>タグを作り、タグ内に

```
CLASID=CLSID:05589FA1-C356-11CE-BF01-00AA0055595A
```

と書いておく。<OBJECT>タグで「CLASSID」を指定したものがサウンド用のActiveXコントロールであることを表している。この「CLASSID」は非常に大切な値なので、間違いないように正

確に書き写そう。

最後に<OBJECT>タグの下にパラメータを与えておく。上のソースリストどおりに6つのパラメータを書こう。重要なのは6番目の「FileName」というパラメータだ。

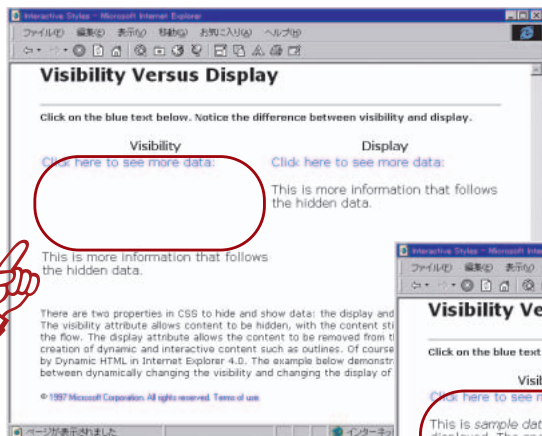
```
<PARAM NAME="FileName" VALUE="file:///C:/WINDOWS/MEDIA/The Microsoft Sound.wav">
```

「VALUE」で再生させたいWaveファイルやMIDIファイルの名前を指定する。上の例のようにローカルファイルでもいいし、サーバー上に置かれたファイルでもいいので試してみしてほしい。

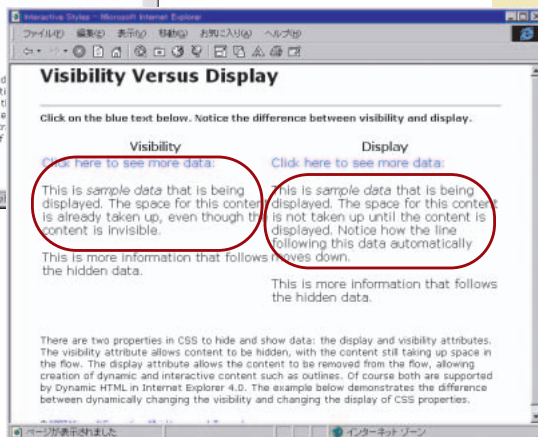
隠された文章をダイナミックに表示する



1



2



URL <http://www.microsoft.com/gallery/files/html/visibility.htm>



```
<P onclick="document.all.d.style.display=
document.all.d.style.display=='none' ? '' : 'none'">
Click here to see more data:</P>
<P id=d style="display:none">隠したい文章</P>
```

POINT

画面①の左側の「Visibility」の部分は、HTMLの中で「visibility」というスタイルを指定した例だ。「Click here to see more data:」の下の部分に不自然な余白があるが、ここには「visibility:hidden」という指定によって文章が隠されている。「Click here to see more data:」部分をクリックすることによって表示と非表示を切り替えられるが、いずれにしてもこのスペースは予約されることになる。

画面の右側の「Display」の部分は、このスペースの無駄を解消するために「display」という新しいスタイルを使った例だ。こちらでもやはり「Click here to see more data:」部分をクリックすると隠されていた文章が表示されるのだが、左の「Visibility」の例と違って、隠された文章が表示される時点で初めてウェブページ内にスペースが確保される。つまり、文章が表示されてい

ないときは無駄な余白がない。これが「display」の特徴だ。言い換えると「display」は、ウェブページのコンテンツを必要に応じてダイナミックに増やしたり減らしたりできる機能を提供するのだ。さて、このようなダイナミックな変化のためには、少しばかりのスクリプトが必要だ。上の例では、ある行をクリックするとその下のパラグラフの表示非表示を切り替えるようにしている。クリックさせる行の<P>タグ内に、次のようなスクリプトを書いておこう。

```
onclick="document.all.d.style.display
=document.all.d.style.display
=='none' ? '' : 'none'"
```

「test ? sentence1 : sentence2」という構文は「test」の結果が真ならば「sentence1」を実行

し、偽ならば「sentence2」を実行するという意味を持っている。

これを踏まえて説明すると、上のスクリプトは「d」というIDを指定したタグのdisplayオプションが「none」だったらそのスタイルを取り消し、「none」になっていなかったら「none」にする」という意味だ。すなわち、クリックするたびにdisplayプロパティの表示と非表示(none)を切り替えることを意味している。

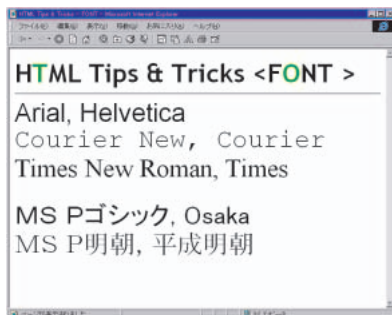
```
<P id=d style="display:none">
隠したい文章</P>
```

表示させたり隠したりする文章部分は、上記のように<P>タグ内に「id=d」と「style="display:none"」としてIDとdisplayスタイルを指定しておくことを忘れないようにしよう。

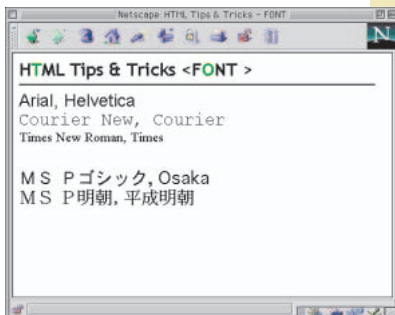
思い通りのフォントを表示させる

① 固有フォント

ウィンドウズ

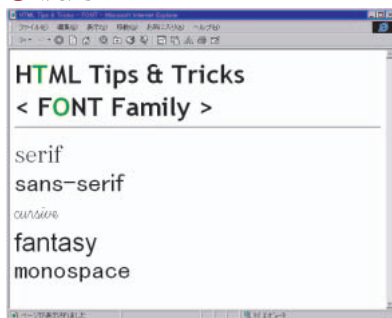


マッキントッシュ

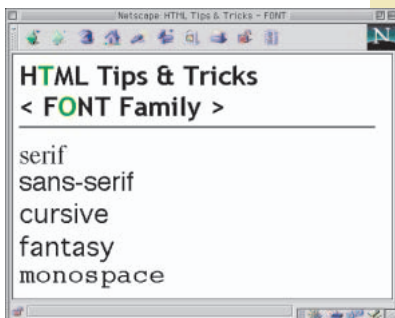


② 汎用フォント

ウィンドウズ



マッキントッシュ



```
<FONT FACE="Arial, Helvetica">Arial, Helvetica</FONT>
<FONT FACE="Courier New, Courier">Courier New, Courier</FONT>
<FONT FACE="Times New Roman, Times">Times New Roman, Times</FONT>

<FONT FACE="MS Pゴシック, Osaka">MS Pゴシック, Osaka</FONT>
<FONT FACE="MS P明朝, 平成明朝">MS P明朝, 平成明朝</FONT>
```

POINT

ウェブページを見る人のコンピュータはウィンドウズやマッキントッシュとOSがばらばらなうえ、インストールされているフォントの種類も同じではない。そこで各OSに標準でインストールされているフォントを表にしたので参考にしてほしい。2つのOSで使われている類似のフォントを次のようにうまく組み合わせれば、多くのコンピュータで同じように表示されるウェブページができるはずだ(①)。

```
<FONT FACE="MS Pゴシック, Osaka">
MS Pゴシック, Osaka</FONT>
```

スタイルシートを使う場合は次のように指定する。

```
<DIV STYLE="font-family: MS Pゴシック,
Osaka"> ~ </DIV>
```

serifやsans-serif、cursive、fantasy、monospaceといったフォントファミリーという汎用のフォントを指定することもできる(②)。指定した固有のフォントがない場合にこのような汎用のフォントを表示させるように指定するといいたいだろう。汎用のフォントのほうが意図したとおりに表示される可能性が高いからだ。

```
<FONT FACE="Arial, Helvetica,
sans-serif">sans-serif</FONT>
```

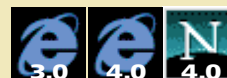
なおウィンドウズ版のネットスケープナビゲーターでは「文字コードセット」が「日本語」になっていると英文フォントの指定が効かないので注意しよう。

	マッキントッシュ	ウィンドウズ
英文フォント	Chicago Courier Geneva Helvetica Monaco New York Palatino Symbol Times	Courier New Arial Times New Roman Arial Black Impact Comic Sans MS Symbol WingDings Marlett
	Osaka Osaka-等幅 平成明朝 平成角ゴシック 細明朝体 中ゴシック 等幅明朝 等幅ゴシック	MS ゴシック MS 明朝 MS Pゴシック MS P明朝
和文フォント		

ウェブページのマージンサイズを指定する



URL <http://www.mydesktop.com/>



ウェブページを作っていて思わぬ余白部分が出て邪魔だと感じたことはないだろうか。たとえば左画面のように上部に画像を使ったウェブページを表示させる場合、HTMLで特になにも指定しなければウェブページの上部と両端に余白部分ができてしまい、見栄えが悪くなってしまう。これを解決するのがマージンを指定する方法だ。IEではウェブページのマージンを自由に調整できるHTMLがバージョン3.0から用意されていたが、ネットスケープナビゲーターでもマージンを調整できるようになり、ウェブページの無駄な余白部分をなくすることができるようになった。ではさっそく内容を見ていこう。



```
<BODY LINK="#31319C" BGCOLOR="#FFFFFF" TOPMARGIN="0" LEFTMARGIN="0"
MARGINHEIGHT="0" MARGINWIDTH="0">
```

Point

以前このコーナーでは<LAYER>タグや<SPACER>タグを使ったマージンの設定方法を解説した。この方法では、<LAYER>タグや<SPACER>タグのほかには<BODY>タグでの設定を組み合わせなければならぬ面倒だった。そこで今回は別の方法を使ってIEとネットスケープナビゲーターの両方で同じように指定できるマージン設定を伝授しよう。IEでマージンを調整するためのポイントは<BODY>タグの次のような指定方法にある。

```
TOPMARGIN="0" LEFTMARGIN="0"
```

「TOPMARGIN」はウェブページの上端からの、「LEFTMARGIN」はウェブページの左端からのマージンサイズを指定する。ここで値を0にすることでウェブページがWWWブラウザのウィンドウ

ウサイズぴったりに表示される。ただしこの<BODY>タグの属性を解釈するWWWブラウザはIEしかない。そこでネットスケープナビゲーターでも同じように表示させるために次のような指定を追加する。

```
MARGINHEIGHT="0"
MARGINWIDTH="0"
```

この指定では「MARGINHEIGHT」でウェブページの上端からの、「MARGINWIDTH」でウェブページの両端からのマージンサイズを指定する。この値も0として先ほどのIEでの指定方法と組み合わせれば、ネットスケープナビゲーターでもIEでもウェブページの余白をなくすることができる。ただし意味もなくマージンサイズを0にしてしまうとかえって見にくいウェブページになってしまう。

そこでスタイルシートを使って部分的にマージンサイズを指定する方法も紹介しておこう。

```
<SPAN STYLE="margin-left:
20px; margin-right: 20pt">
  本文
</SPAN>
```

「margin-left」で左の余白を、「margin-right」で右の余白を指定する。このほかにスタイルシートでは「margin-top」でページの上からの余白を、「margin-bottom」でページの下からの部分の余白を、「padding」でページの四辺のマージンサイズを指定することができる。<BODY>タグを利用する方法とスタイルシートを使う方法をマスターしておけば、もう無駄な余白を心配する必要はない。

HTMLパズルに挑戦しよう

隠されたトリックを解き明かせ！



今月のテーマ

・簡易画像を制する・

何度かこの連載で高度な画像表示のTIPSを紹介させていただいた。画像は重要な要素であることは間違いないのだが、華美になりすぎるウェブページを嫌ってシンブルー辺倒を好む読者もいるに違いない。しかしそういった人も図を上手に使いたいというのが本音だろう。思い出してほしいのは画像ファイルを使わないで図を表示させるTIPSだ。そこで今月はお手軽な簡易画像の表示に挑戦していただく。トリックが分かったらすぐに解答を送ってほしい。正解者には抽選で1名にオリジナル腕時計をプレゼントさせていただく。なお、正解は来月のコーナーで発表する。それでは頭をやわらかくして、今月のテーマ“簡易画像を制する”にチャレンジ！

「HTMLパズルに挑戦しよう」

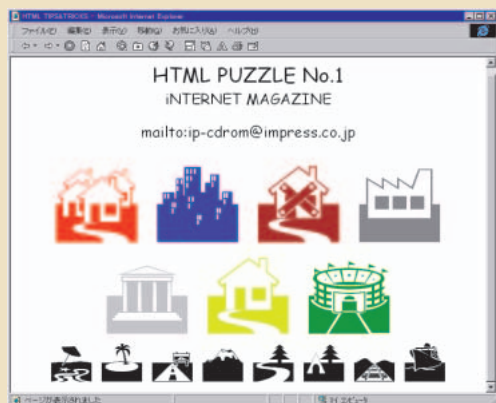
宛先

正解が分かった人も、分からなかった人も、ご意見、ご感想など何でもOK、次の宛先にメールしよう。用件の欄には必ず
HTML TIPS & TRICKS
の1行を忘れずに。あなたの挑戦を待つ！

✉ ip-cdrom@impress.co.jp



QUESTION 1 建物、地形の簡易画像を表示させろ！



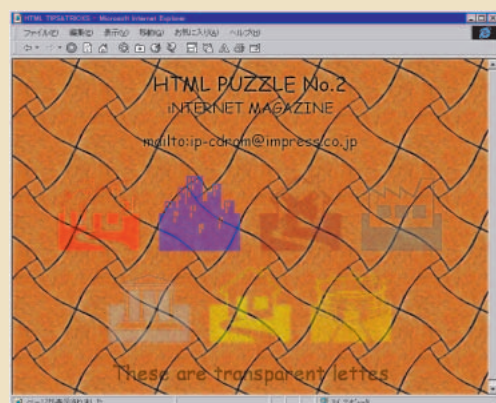
一軒家やビル、工場、神殿、競技場。それに道路や海。クリップアートのようにもアイコンのようにも見えるこれらの画像はいったいどこにあるのだろうか。実はIE4.0をインストールしたコンピュータでは、これ以外にも多くの簡易画像を使用できる。今回は建物や地形を表すアイコンに絞って挙げてみたが、ほかにも乗り物や標識、複雑な矢印などウェブページで使えそうな簡易画像がたくさん用意されている。ダイナミックHTMLやデジタルカメラの画像などで重くなりしがちなウェブページを、これらの「読み込みの軽い」簡易画像でシェイプアップする方法にチャレンジしてみよう。



読み込みが軽く色を指定できるということは.....



QUESTION 2 簡易画像を半透明で表示させろ！



1問目が解けたら上のサンプルに少し手を加えた右の画面を見てほしい。なんとこちらは簡易画像が半透明になって下の壁紙が透けているのだ。簡易画像を応用すればこんなことができるのだ。たとえばスタイルシートの位置指定のテクニックを使って画像や文字を重ねる。重なりの上になる画像や文字にこの半透明にするテクニックを使えば、立体的なページのできあがりだ。1問目が分からなかった人もぜひ挑戦してほしい。その場合は適当な文字が画像を半透明であれば正解にさせていただく。このコーナーの読者だったら過去の連載をひも解けばすぐに分かるのではないだろうか。



文字や画像にフィルターをかけるには.....

[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレス R&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp